



(仮称) 町田市福祉のまちづくり推進計画
(素案)

パブリックコメント実施結果

町田市福祉のまちづくり推進協議会

『(仮称) 町田市福祉のまちづくり推進計画』(素案)に関するパブリックコメント手続(意見公募)の実施概要

町田市福祉のまちづくり推進協議会(以下「協議会」といいます。)では、市長の諮問を受け、町田市福祉のまちづくりを総合的かつ計画的に推進するための基本となる(仮称)町田市福祉のまちづくり推進計画の策定に向けて検討を行ってきました。

同計画について、理解を深めていただくために「素案」を作成し、市民のみなさまからご意見を募集しました。

I. 意見の募集期間

2012年1月11日(水)から2012年2月3日(金)まで

II. 案の公表方法

○以下の施設での資料閲覧・配布

福祉総務課(市役所2階)、市民相談室(市役所1階)、市政情報やまびこ(市役所中町分庁舎1階)、市民協働推進課(市民フォーラム3階)、各市民センター、木曾山崎センター、玉川学園文化センター、町田駅前連絡所、南町田駅前連絡所、各市立図書館、町田市民文学館

○「広報まちだ1月11日号」に概要掲載

○「町田市ホームページ」に詳細掲載

III. 寄せられた意見の件数・内訳

電子メール、ファックス、郵送等を通じて、9名の方から延べ34件のご意見を頂きました。ご意見の項目別の内訳は次のとおりです。(複数の内容に関わるご意見は、内容ごとに分けて集計しています。)

ご意見の概要とそれに対する協議会の考え方は、4ページ以降をご覧ください。なお、取りまとめの都合上、いただいたご意見は項目ごとに整理し、要約して掲載しています。

■寄せられたご意見の内訳

項目		件数
市の取組全般について		5件
推進計画全般について		2件
重点事業について		2件
福祉のまちづくり実現に向けた取組について		
	施設整備について	2件
	学校へのエレベーター設置について	1件
	鉄道駅周辺の移動環境整備について	1件
	安全な歩道整備について	3件
	無電柱化推進について	1件
	街路樹の再整備について	1件
	公園整備について	5件
	駐車場マップ・駐輪場マップについて	1件
	情報提供について	2件
	心のバリアフリーについて	2件
	「まちだの福祉」講座運営について	1件
	新たな取組提案について	1件
表記・表現について		3件
その他		1件
合計		34件

■ご意見の概要と協議会の考え方

◆市の取組全般について（5件）

NO	ご意見の概要	協議会の考え方
1	核家族化、高齢化社会の進展に対し、市が将来を見据えて街づくりに取り組んでいる姿勢は、市民としては大変ありがたく、有意義。	今後も、計画の実行により、随時、市民のニーズや地域の特性を踏まえ、より着実に市民の利便性が向上される取組を行っていくべきと考えています。
2	ホームページの充実や刊行物の見直し、駅におけるバリアフリー化は目覚ましく、利便性は着実に向上してきたと実感している。	
3	市のまちづくりに対する様々な取組は、今となっては他市よりも優れているとは言い難い。取組の即効性も時間と共に本市のもつ思想性は影が薄まってきているような気がする。熱意を引き継いでいって欲しい。各課を越えた連携作業があったことが「福祉の町田」と言われてきた所以であるが、だんだんと縦割り行政になって来てはいないだろうか。	計画案では、これまでの福祉のまちづくりに関する取組の体系化による一体的な推進と、継続して推進するための仕組みづくりを企図し、福祉のまちづくりの取組を計画的に行っていくことをお示ししています。
4	市発行の福祉関連の小冊子については、認知度が低い。教育委員会などとも連携を図り、教育の中にもっと入り込んでいくことが効果的だと思われる。	推進分野3 推進事業(31)「市立小・中学校での心のバリアフリー教育の推進」で、市長部局と教育委員会との連携により、心のバリアフリー教育の推進を図っていく事業を掲げています。
5	インクルージョンという点が国際的レベルで叫ばれており、これには障がい者の権利を全面的に肯定しなくてはならない。あらゆる障がい者が何の不便もなく安心できる公的または民間の商業施設がどのくらいあるかを調べると皆無であり、障がい者が苦難を強いられている。バリアフリーという言葉がバリアになっているということはどう考えていくのか、また、インクルージョン思想との整合性をどこまで追求できるのかが今後の課題である。	すべての人が、安全で安心して、快適に住み続けることができるまちづくりを目指して、推進計画を着実に実施していくよう、協議会から市へ伝えます。

◆推進計画全般について（2件）

NO	ご意見の概要	協議会の考え方
1	これまでの各種施策の拡充と充実化に力点を置かれている一方で、目新しいテーマが見受けられない。	本計画案は、これまでの福祉のまちづくりに関する取組の体系化による一体的な推進と、福祉のまちづくりを継続して推進するための仕組みづくりに重点を置いています。今後、この計画を実施していく過程で、各事業の評価検証を行った結果を踏まえ、課題と具体的な取組を見出していくことが重要と考えます。
2	どんなに頑張っても良い計画を作っても、それは日々生きているものにとっては、絵に描いた餅になっていることが多々ある。決定したことを社会のすみずみにまで、浸透させる具体的な方法を考えないと机上の空論である。現場からのフィードバックをどう実現し、そのことをどうまとめてより良いものにしていくかが大きな課題である。	「みんなで取り組む」、「継続して進める」という2つの取組方針に基づき、多様な人々の意見を取り入れながら、連携し、一体となって事業の実施に当たっていくための計画案となっています。また、効果的な取組を推進していくため、情報を共有し、問題や課題等を次の事業等に反映し、継続的に取組を進めて、質の向上を図っていく仕組みづくりをこの計画の実行により行うものとしています。

◆重点事業について（2件）

NO	ご意見の概要	協議会の考え方
1	重点事業の進め方について「優先的に推進します」は時期が不明確であり、例えば5年間のうち3年目までに推進する等としてはどうか。	重点事業は、「みんなで取り組む」、「継続して進める」という2つの取組方針に基づき、福祉のまちづくり・ユニバーサルデザインの取組の実効性を高める仕組みづくりを進める上で、着実に進めるべき重要な事業として、協議会で検討して位置づけたものです。ご意見を参考にさせていただきます、表現を改めます。
2	現在の5つの重点事業の他に次の3事業を追加してはどうか。（8）駅前広場整備事業、（9）鉄道駅周辺移動環境整備事業、（12）バス停の乗降環境改善整備	

◆福祉のまちづくり実現に向けた取組について

○施設整備について（2件）

NO	ご意見の概要	協議会の考え方
1	高齢者・弱者にとって、緊急時に必要となる対応について、具体的な施策を取り上げて頂けたらと思う。例えば緊急時に受入れ可能な医療機関が限られていることや、必要な時に即時に入所できる介護施設が少ないなど、高齢者や高齢者を抱える家族にとって、深刻な問題であ	今後の市の取組に対するご意見として、参考にさせていただきます、協議会から市へ伝えます。

	り、問題の解消こそが、市民が安心して暮らせる前提ではないか。止むを得ず隣接や近郊の医療機関や介護施設を利用する方が多い。早急に取り組み、成果を挙げることを期待します。	
2	市の各施設に緊急時・災害時になどに聴覚障がい者に情報を伝えるための設備(回転灯や電光掲示板)を設置して欲しい。	緊急時の設備・施設については、町田市福祉のまちづくり総合推進条例整備基準等マニュアルに、参考設備として記載がありますが、現時点では義務付けがありません。ご意見につきましては、施設の市民参加による検証等の際、他の設備等とあわせて整備について検討する参考にさせていただき、協議会から市へ伝えます。

○学校へのエレベーター設置について（1件）

NO	ご意見の概要	協議会の考え方
1	学校にエレベーターが設置されていないため、骨折した子どもが、一か月近く学校へ通えないことがあった。	町田市福祉のまちづくり総合推進条例などに基づき、学校教育時の子ども・教職員の利用及び、学校開放時の高齢者、障がい者等の利用を考慮した設計をすることが重要と考えます。ご意見につきましては、今後の施設整備の参考にさせていただき、協議会から市へ伝えます。

○鉄道駅周辺の移動環境整備について（1件）

NO	ご意見の概要	協議会の考え方
1	玉川学園文化センターは、駅舎から離れており、またセンターまでの経路に階段もあって不便。駅舎から直接デッキで行けるようにして欲しい。	玉川学園文化センターについては、建替えの検討を行っており、この計画案においても推進分野 1-1 推進事業(2)「市の新築建築物のユニバーサルデザインによる整備事業」の一つに位置づけています。取組を進める上での参考にさせていただき、協議会から市へ伝えます。

○安全な歩道整備について（3件）

NO	ご意見の概要	協議会の考え方
1	歩道のバリアフリーは、車いすの方やベビーカーを押す者にとっては、望まれるところ。	安全な道路環境を維持し、歩行者・自転車利用者等が安心して通行できるように取り組んでいます。推進分野 1-3 推進事業（13）「歩道のバリアフリー改善整備（歩道整備事業）」を推進する上での参考にさせていただき協議会から市へ伝えます。
2	自転車専用道路の整備が望まれる。狭い歩道を歩行者と自転車、ベビーカー、車いすが通るのは困難であり、危険である。	
3	歩道の幅員、舗装材、自転車、電動車いす対策を検討して欲しい。	

○無電柱化推進について（1件）

NO	ご意見の概要	協議会の考え方
1	電柱については、良好な景観の阻害よりも、むしろ交通阻害になっている。	推進分野 1-3 推進事業（14）「無電柱化推進事業」を推進する上での参考にさせていただき協議会から市へ伝えます。

○街路樹の再整備について（1件）

NO	ご意見の概要	協議会の考え方
1	歩いていて目の高さに枝を張る街路樹や、するどい、かたい葉先を持つ樹種はやめて欲しい。	推進分野 1-3 推進事業（15）「街路樹の再整備事業」を推進する上での参考にさせていただき協議会から市へ伝えます。

○公園整備について（5件）

NO	ご意見の概要	協議会の考え方
1	公園内の通路のタイルのでこぼこや少しの段差でも車いすでは通行が大変。	推進分野 1-3 推進事業（16）「公園施設長寿命化計画に基づく公園整備事業」を推進する上での参考にさせていただき協議会から市へ伝えます。
2	薬師池公園は、福祉施設の車両で混雑することがあるため、福祉車両向けの駐車場を拡張して欲しい。	
3	薬師池公園の梅園を車いすでも観賞しやすくして欲しい。	
4	野津田バラ園に車椅子でも通れるように整備をして欲しい。	
5	公園整備の際には、実際に車いすで検証して欲しい。	

○駐車場マップ・駐輪場マップについて（1件）

NO	ご意見の概要	協議会の考え方
1	情報を充実させて欲しい（（18）町田駅周辺 駐車場マップ・駐輪場マップの整備事業）	安全な道路環境を維持し、歩行者・自転車利用者が安心して通行できるように、必要な情報を提供していくよう、協議会から市に伝えます。

○情報提供について（2件）

NO	ご意見の概要	協議会の考え方
1	情報について、格差が広がっている。助成金やサービスがあることが伝わってきていなかった。必要な時に活用できるよう、もっと宣伝して頂きたい。	すべての人が、簡単かつ効率よく、まちに関する情報を共有できる仕組みづくりが重要と考えます。推進分野 1-3 推進事業（23）「市からの情報発信のバリアフリー化推進事業」を実行する上での参考にさせていただき、協議会から市へ伝えます。
2	外出時の情報入手手段として、駅やバス停、幹線道路等に、高齢者が多く訪れる施設（病院、市民センター等）の案内板、住宅地図等を設置することも有効と考える。	今後の市の取組に対するご意見として、参考にさせていただき、協議会から市へ伝えます。

○心のバリアフリーについて（2件）

NO	ご意見の概要	協議会の考え方
1	車いす使用者が外出するたびに、必ず1～2回は「仕方ないか…」と我慢していると思う。どんな所でどんな不便を感じ、いやな思いをしているかを、いかに吸い上げるか、新しい方法を考える時期ではないか。	計画案では、各取組に対する市民による評価、検証を重視し、市民参加の仕組みづくりを行っていく旨明記しています。計画の実行に当たっては、直接の参加だけでなく、アンケートやヒアリングなどさまざまな方法で、市民の意見を取り入れるよう、協議会から市へ伝えます。
2	働く親が増え、子どもは幼少のころから保育所へ、障がいをもっている人たちは施設へ、高齢者はデイサービスへと、それぞれの場所に行ってしまう為、子どもたちにさまざまな人が社会にいるというのを伝えるのが困難な状況である。地域の中で一緒に暮らせることが何よりの教育だと思う。	今後の市の取組に対するご意見として、参考にさせていただき、協議会から市へ伝えます。

○「まちだの福祉」講座運営について（1件）

NO	ご意見の概要	協議会の考え方
1	福祉講座はこれからの社会に必要な活動。市民が参加しやすい講座をめざし、一層の講座の充実を望む。	福祉講座では、福祉施設等におけるボランティアなどの体験学習、合同講義等を通じ、高齢者の生活や障がいへの理解を深め、ボランティア人材の育成や共に暮らす地域づくりを推進しています。一人一人の市民が創造的で充実した人生を送ることができるよう、また、地域づくりや地域文化の創造に主体的に参加していただけるように、より一層充実した講座事業を実施するよう、協議会から市に伝えます。

○新たな取組提案について（1件）

NO	ご意見の概要	協議会の考え方
1	町内会レベルでの福祉講習会などの開催を求めていく必要がある。	今後の取組に対するご意見として、参考にさせていただきます、協議会から市へ伝えます。

◆表記・表現について（3件）

NO	ご意見の概要	協議会の考え方
1	「取組の評価、検証、スパイラルアップ」を「取組のPDCA サイクルとスパイラルアップ」としてはどうか。	ご意見につきましては、参考にさせていただきます。
2	「(10) ノンステップバス導入支援事業（再掲）」内の文章を、「だれもが利用しやすいノンステップバス車両を普及拡大し、すべての人が円滑に、安心して移動ができるようにする」としてはどうか。	該当箇所は、推進事業内容の概要説明となります。ご意見を参考に、原案に登載する推進事業の詳細説明ページに事業の目的を明確に記載します。
3	「(11) 地域コミュニティバスの運行補助事業（再掲）」内の文章を、「地域コミュニティバスの運行に対する助成を行い、移動困難者が、安心して、円滑に移動ができ、充実した生活に対する支援を行う」としてはどうか。	

◆その他（1件）

NO	ご意見の概要	協議会の考え方
1	現市役所の移転跡地の活用について、駅近くの立地を活かして、映画館とプラネタリウムを開設して欲しい。	市役所本庁舎移転に伴う庁舎跡地の活用については、町田市庁舎跡地等検討委員会を設置し、有効な活用について検討しています。ご意見につきましては、協議会から市へ伝えます。

【問合せ先】 町田市地域福祉部福祉総務課（町田市福祉のまちづくり推進協議会事務局）

電 話 042-724-2133

FAX 042-724-1187